



【アジア Market 概況】

本日の東京市場では、ドル円は方向感のない動きとなりました。週明け早朝のオセアニア市場では 106 円台半ばでの様子見が続きましたが、東京勢が参入して本邦輸出勢の売りが観測されると下落。一時 106.37 円まで値を下げました。ただ、下押しも限定的。先週末 NY 時間安値の 106.21 円が目先の目処として意識されたほか、仲値に向けては本邦実需の買いが持ち込まれると次第に下値を切り上げる展開に。先週末高値の 106.69 円を上抜けて一時 106.70 円まで買い戻されました。午後に入ってから再び頭を重くしています。日経平均は寄付きから大幅に買い戻される展開。ダウ先物の上昇も買いを後押しすると、一時 720 円を超える急上昇となりました。後場に入ってから高値圏でのみ合いに終始。結局、697.49 円高で月初の取引を終えています。

【海外 Market 見通し】

本日の海外市場では、ユーロドルは方向感のない動きとなっています。アジア時間は目先材料不足のなか 1.2067 ドルから 1.2101 ドルの取引にとどまっています。市場参加者からは「先週末安値の 1.2062 ドルや 2 月 17 日の安値 1.2023 ドルがサポートレベル」との声も聞かれています。ドル円は「昨年 8 月 28 日の高値 106.95 円や 8 月 13 日の高値 107.05 円が上値の目処」として意識されています。今日の経済指標では、17 時 50 分に仏、55 分に独、18 時にユーロ圏、30 分に英の 2 月製造業 PMI 改定値が発表されます。22 時には 2 月独 CPI 速報値が予定されています。22 時 30 分には 10 - 12 月期カナダ経常収支が公表されます。23 時にはウィリアムズ NY 連銀総裁が挨拶するほか、23 時 05 分にはブレイナード FRB 理事が講演します。23 時 45 分には 2 月米製造業 PMI 改定値が明らかになるほか、24 時には 1 月米建設支出、2 月米 ISM 製造業景気指数が発表されます。また、翌 3 時には 2 月ブラジル貿易収支が予定されています。

| 通貨ペア | 高値 | 安値 | 16:00時点 | 通貨ペア | 高値 | 安値 | 16:00時点 |
|--------|--------|--------|---------|-----------|----------|----------|----------|
| USDJPY | 106.70 | 106.37 | 106.54 | AUDJPY | 82.83 | 82.09 | 82.66 |
| EURUSD | 1.2101 | 1.2067 | 1.2090 | NZDJPY | 77.73 | 77.06 | 77.57 |
| EURJPY | 128.94 | 128.54 | 128.82 | 日経平均 | 29686.39 | 29396.04 | 29663.50 |
| GBPJPY | 149.30 | 148.34 | 149.06 | TOPIX | 1903.97 | 1887.28 | 1902.48 |
| CHFJPY | 117.45 | 117.18 | 117.32 | 上海総合指数 | 3552.57 | 3511.99 | 3551.40 |
| CADJPY | 84.00 | 83.64 | 83.92 | 国債10年債利回り | 0.1570 | 0.1420 | 0.1500 |

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ
 株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。情報の内容につきましては、弊社が正確性、確実性を保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、弊社は一切の責任を負いません。